

学校便り

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 233 322 424

Email: gakkou@jpschool.cz

No.913-1 2018/6/6

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

プラハ日本人学校 第38回運動会

5月26日(土)

スローガン We can do it! To be winners.

すばらしい晴天の中で行われた運動会でした。駐車場の誘導などPTA役員のみなさまにはお世話になりました。たくましく、また勝者にも敗者にも思いやりある行動をとった、プラハ日本人学校の子どもたちの感想を掲載します。

1年 ・おおだま、とつてもたのしかったよ。ともだちとだんすやってたのしかった。(ひろと)・はしるのがんばったよ。うんどうかいが、たのしかったよ。(ゆり)・だんすしっかりおどれたよ。たまいれまけちゃってくやしかったよ。(さき)・いちばんとれてすごうれしかったよ。うんどうかい、まけちゃった。(さく)・れえすで2いをとれてうれしかったよ。おおだまであかぐみがかかってうれしかったよ。たまいれで、まけてかなしかったよ。(そうた)・もあな、がんばったよ。みんなもがんばったよ。いっぱい。(ヨナーシュ)・うんどうかい、たのしかったよ。みんなもがんばったよ。にこにこだんす、おどったよ。(まや)・だんす、がんばったよ。はしるのがんばったよ。だんす おおきくおどったよ。かけっこ2ばんだったけど さいごまでがんばったよ。(かほ)・みんなが ちからづよくはしているのがいいよ。ゆりさんがはやいのを しらなかつたよ。(つばき)・だんす がんばったよ。しろぐみまけちゃって くやしかったけど たのしかったよ。きょうそうで3いになって さみしかったです。(えみり)・かけっこ がんばったよ。あと だんすががんばったよ。たまいれも がんばったよ。あと おおだまががんばったよ。(とわ)・いちばんに なったよ。うれしかったよ。(おうせい)・がんばりすぎてつかれたよ。かけっこががんばったよ。だんす がんばったよ。おうえんも がんばったよ。(そうたろう)・おおだま とつてもたのしかったです。あかぐみがかつたのは、かなしかったです。たまいれは しろぐみがかつたのが うれしかったです。(はるき)

2年

おきて空を見たら、まっさおでした。うんどうじょうにいくと、しばふがみどりで、たいようもでていて、わたしはわくわくしました。やる気マンマンになりました。プラハで二回目の運動会でした。

一ばんれんしゅうしたのは、ダンスです。しゃしんを見たら、みんながもっているポンポンがチェコのこっき色で すごくきれいでした。

ダンスはえがおでできました。1年生のときは一しょうけんめいおどりました。こんかいは、きょ年よりもたのしめました。わたしがすこしきんちょうしたのは、「ふりふり玉入れ」です。おしりをふるのはずかしかったけれど、おもいつきりふつたらたのしくなりました。となりのりんくんと、わらっていました。

ときょうそうは、名まえをよばれたとき、白組おうえんがきこえました。うれしいのとドキドキでした。力いっぱいはしてテープをきれしました。らい年はもっともっとはやくはしりたいです。白ぐみはまけてしまったけれど、おうえんは、しろぐみのほうが大きなこえでした。しゃしんを見ると、えがおばかりでした。

3年

プラハ日本人学校での初めての運動会。少しきんちょうして、少し楽しみな気持ちでいっぱいでした。きょうぎの中で一番楽しかったのは、おどるポンポコリンです。わたしは、「しっばいしないかな。」「うまくできるかな。」とっていました。それにきんちょうも少しありました。ダンスがおわりました。「上手にできた。」とほっと安心しました。しっばいしそうになったけど、しっばいしないでできたのでよかったです。お母さんが、「しっばいしてもあきらめずにやるのが一番大切だよ。」と言ったのであきらめずにやりました。お母さんが、「よくがんばったね。すごく上手だったよ。」とってくれたのがすごくうれしかったです。「あきらめずにやってよかった。」と思いました。二番目に楽しかったのは、ときょうそうです。ときょうそうで一位になったのは、二回しかなかったの「三年生で一位になろうと思いました。」スタートしました。わたしは、はじめ先頭に立っていたので、「一位になれるかも。」とっていました。だけどももうすぐごーるところでころんでしまいました。けっかは、四位になってしまいました。わたしは、いたくてくやしくてないてしまいました。なきやんで、わたしは、「しっばいして成長するんだ。」と思い「四年生になったら一位になるんだ。」と決めました。だから四年生で一位になろうと思いました。わたしの目当ては、「何でもあきらめない。」でした。今年の運動会では、ころんでもあきらめなかったの、成長できたと思います。わたしは、このなんでもあきらめないという力で算数や国語のべんきょうをすぐにあきらめないでがんばっていこうと思います。

4年

運動会では、わたしは赤組でした。赤組は、ずっと負けていると聞いていたので、ぜったいに勝ちたいと思っていました。最しょのきょうぎはときょう走でした。五十メートル走が、すごく速い友だちと走るので負けたくないと思っていました。最しょは、わたしがリードしていましたが、ぬかされてしまいました。そして、二位になりました。本当にくやしかったです。だから、今度はぜったいだれにも負けたくないと思いました。表げんでは、ウェーブの時に、はく手が上がったのがうれしかったです。今までで、一番良かったと思いました。そして、一番自信があったぼう引き。三年生の友だちと、ぼう引きをしました。一回せんは、ぼうを取れなくて、引かせんでしたが、勝ちました。二回せんも、赤組がたくさん引いて、勝ちました。なので、赤組が勝ちました。六年生の子たちがすごくよろこんでくれました。全部のきょうぎに全力を出せたのでよかったですと思いました。そして、いよいよ結果発表。白組に三十点ぐらいの差をつけて赤組がゆうしょうしました。すごくうれしかったです。来年もがんばって勝ちたいです。

5年

私は、走り終わったあとざん念なきもちではなく、気持ちよかったです。予行練習のとき、私は徒競走で四位になってしまいました。その時は、ざん念だなと思っていました。当日の朝、私がきんちょうしていると、ある人の言葉をお母さんが教えてくれました。「最下位になっても、『今日は全力で走っていたね。』と言われるようなすがた。最後まで全力を出しきること。」私はその言葉を聞いたとき、四位になっても全力で走ればいいんだなと思いました。スタートラインに立ったとき、あの言葉を思い出して全力で走りました。結果四位になったけど、その時、全力を出して走れたなと思いました。私は徒競走で最後まで全力であきらめずにがんばることができました。苦手な事や、どんなじょうきょうでも、最後まで全力でがんばることがとても大切だと気づきました。

児童生徒会副会長

私は終わりの言葉を言うときに、みんなにかけてもらった「がんばれ！」を自信にうまく言うことができました。これからは、その恩返しをしていきたいです。がんばれ！と言われてとてもうれしかったので、もしだれかがこまっていたり、きんちょうしていたりしていたときは、がんばれ！などとはげましてあげたいです。そのはげまし合いが広がって学校中に笑顔の花がさいたらいいなと思いました。これからも自分に自信をもって、「We can do it!」とはげまし合っていきたいです。

学校便り

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 233 322 424

Email: gakkou@jpschool.cz

No.913-2 2018/6/6

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

プラハ日本人学校 第38回運動会 5月26日(土) スローガン We can do it! To be winners.
中1

今回の運動会で、一番心にのこったのはリレーです。理由は、3つあります。1つは、ぬかされなかったからです。白戸くんやりあんちゃんたちが間を開けてくれて、うしろを気にせず、一生懸命走れたからです。

2つめは、いろいろなことを工夫したからです。走順はもちろん、走り方やバトンをわたすときのわたしかた、かけ声など、いろいろなことを本気でがんばったからです。

3つめは、チームの人たちがやさしかったからです。さらちゃんや山田せんばいなどが、走り終わったあとに声をかけてくれたり、足のおそいわたしをせめないで応援してくれたからです。来年は、中二、中三の先ばい方のように、下級生をはげましたり、責任感を持った、頼れる先ばいを目指してがんばります。

赤組応援団長

今年の運動会は、去年までとちがい、団長としてみんなを引っ張っていくべき立場にいました。団長は想像よりも大変で何度も落ち込みました。しかし、団員や赤組のみんなと協力して競技に取り組んでいるうちに、そのことを忘れるくらいに一生懸命になりました。そうなったのも、先生や児童生徒のみんなのおかげです。とても感謝しています。運動会だけでなく、今後の日常生活や行事でも中学2年生としてみんなを引っ張っていきたいです。

白組応援団長

僕はこの運動会で「人の助けがなくては、一人ではどんなこともうまくいかない。」ということをはあつきりと感じた。応援練習のときの隊形も、中2が手伝ってくれたおかげでとてもスムーズだった。きっと中2の力がなければ、ここまでスムーズに進めることはできなかつただろう。また、選手宣誓の言葉を考えて一緒に決めてくれたときは、みんながとても心強い仲間と再認識できた。自分の持っていないものをみんなが持っている。そんな気持ちだった。まわりの人の手伝いがあるから成功する。だから自分も、これからの行事もサポートに回ろうと思う。

児童生徒会長

今回の運動会をふり返って、とても楽しく、達成感のあるものになったなあと思います。特にムカデや紅白リレーは、他学年との交流ができ、練習していく中でチーム内での仲が深まっていくことが実感できました。リーダーになって皆をひっぱっていくだけではなく、陰で見守ったり支えたりすることの大切さ、その難しさも学ぶことができたと思います。また、代表委員として迎えた今年の運動会は、私にとってこれまでの運動会とは違ったものになりました、テント内での応援の声を気にしたり、開会式のあいさつにきんちょうしたり、何より、こんなにもスローガンをしっかり覚えたのは初めてでした！We can do it! To be winners! は達成できませんでした。せめて5年後くらいまでには、このスローガンをおぼえていられるといいなと思います。